



謹賀新年
謹んで新年の
ご挨拶を申し上げます



JAあさひかわ戦隊 アグレncy



オンラインショップ好評稼働中!

特集 新春を迎えて

JAと農業
JAあさひかわ米が食べられるお店紹介
理事会だより



あさがおの情報を発信しています。どうぞご覧ください。

農産物直売所あさがおのブログ
「あさがおだより」

<http://www.ja-asahikawa.or.jp/asagodayori/>



JAの自動車共済加入者向け 突然の「事故」や「故障」など 緊急時に心強いスマホアプリ!!

JA共済 くるまのミカタ

お車のトラブル時にアプリを利用すれば受付窓口へのスムーズな連絡が可能です。

1 レッカー・ロードサービスの要請 受付窓口 JA共済サポートセンター

- ① GPS機能で位置情報を送信することができます!
- ② トラブル状況の画像を送信することができます!
- ③ お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済サポートセンターに通知されません。

➡ 必要な情報をJA共済サポートセンターに送信でき、迅速にレッカー・ロードサービスを受けられます!

2 事故受付 受付窓口 JA共済事故受付センター

- ① GPS機能で位置情報を送信することができます!
- ② お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済事故受付センターに通知されません。

➡ 必要な情報をJA共済事故受付センターに送信でき、迅速な事故受付が可能となります。
※JA共済事故受付センターにトラブル状況の画像を送信することはできません。

事故や故障が発生した際には、JA共済サポートセンターまたはJA共済事故受付センターの専門スタッフがいつでも(24時間365日)対応いたします。ぜひ、お持ちのスマートフォンにアプリをご準備ください。
※アプリご利用時の通信料は、ご利用者さまのご負担となります。

無料でダウンロード
できます。

アプリのダウンロード

「アプリダウンロードはコチラから」

くるまのミカタ

※iPhone、iPad、App Storeは米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
※「Android」「Google Play」はGoogle Inc.の商標または登録商標です。

App Store

Google Play

■ ご注意事項

交通事情、気象状況等により、対応業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。ご利用者さまのご契約内容・トラブル状況によっては、サービスの一部または全部がご提供できない場合があります。ご利用者さまのお使いの機種および設定によっては、位置情報を必要とするサービスをご利用いただけない場合があります。アプリで提供されるGPSによる測位結果の位置情報は、利用環境やGPS衛星の電波状況により、位置が表示されない場合または実際の位置と誤差が生じる場合があります。詳細はアプリ内の「JA共済くるまのミカタ」利用規約をご確認ください。

※このチラシは「JA共済くるまのミカタ」の概要を説明したものです。詳細につきましては、お近くのJAにお問い合わせください。
※スマートフォン向けアプリのため、フィーチャーフォンの場合にはご利用いただけません。また、お使いのスマートフォンの機種・設定等によってはご利用いただけない場合があります。
※本アプリは、JA共済の自動車共済に加入されている方向けに無料提供するものです。
※このチラシに記載している画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

新春を迎えて

代表理事組合長

島山 守穂



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は農協運営並びに事業推進に対しご理解とご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと春先の気温は高く推移し融雪が進み農作業は順調に開始され、穏やかな天候にも恵まれ主要農産物は平年作を上回る収量で、米の作況指数は107と出来秋を迎えることができました。

国内に目を向けてみますと、新型コロナウイルスの感染拡大と緊急事態宣言による経済活動の収縮により深い景気後退局面に入りました。人口急減による市場縮小、消費意欲減退、コロナ禍の影響で食料輸出を規制する動きがでるなど、輸入に頼る食料依存の危険性が明らかになりました。また外食を控えたことにより家庭内消費は増加し「食」に対する意識は高まり、国民に対する安定供給と海外輸出が今後の課題となります。当組合の基本理念は、食料基地北海道としての基盤確立への貢献と一翼を担う地域としての責任を全うし、国民に貢献していくことであります。

一方、農協を取り巻く環境は規制改革会議農林水産WGの審議事項と

なっている「農協改革の着実な推進」では、事業及び組織に関する改革の実施状況等を点検し確実な実行を促すとともに、引き続き検討されている事項については審議されていくものと考えられます。

令和3年3月末には准組合員の事業利用規制のあり方検討期限となり、4月を目途に検討結果が結論付けられ、必要に応じて速やかに措置を講じなければならないほか、厳しさを増す環境となるのは必至であります。

経営面では、超低金利の継続等による信用事業収支の悪化と信連への預け金から多くの収益を得ていたビジネスモデルの見直しが迫られ、今まで農業を支えてきた世代のリタイアを契機に「農業経営の法人化」「大規模化」「スマート農業の導入」など構造的変化の加速化に対応しなければなりません。

本年は、「第7次農業農協中期3カ年計画」2年目となります。コロナ禍の影響で、なかなか思うように取り組めませんが「できないではなく、できる方法を考えて実践して行く」ことを肝に銘じて行っていくます。

また、付加価値の増大・利用者基盤の堅持と持続可能な事業運営態勢の確立に取り組み、組合員のために地域のために役職員一丸となって事業運営を行ってまいりますので、皆様の深いご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員皆様方にとって実りある豊穰の1年となり素晴らしい年になりますことをご祈念いたしまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年の 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

小野 寺俊幸



新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業は、米の作況指数が106の「良」、畑作物については収穫時期に一部地域に降雨による影響が見られたものの平年並以上の結果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることが出来たと感じております。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食・中食の需要減少等の影響により、各作物の更なる需給緩和が懸念されているところです。今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国できないことにより、農作業の人材確保にも大きな影響が出ておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

JAグループ北海道では、昨年より道民の皆様に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のあり方を見つめなおしていただくことを目的として「AGRI ACTION! HOKKAIDO（アグリアクション北海道）」と題した情報発信を北海道の支援もいただき、スタートいたしました。

「AGRI ACTION! HOKKAIDO」は次の3つのテーマを伝えることを目的としております。

- ①食料自給率に対する理解促進と行動変容の喚起
 - ②農業には多様な働き方があるということの周知とより多くの方が農業に携わっていただき、将来的に農業を仕事の選択肢として考えてもらうこと（本業以外に副業として農業に親しむ人々を「パラレルノーカー」と命名）
 - ③日頃から道産農畜産物を食している道民の皆様感謝を伝えること
- 本年は第29回JA北海道大会の実践最終年であることから、この取組みと協同の力を梃子として「農業所得の増大」「多様な担い手の確保・育成」「食と農とつながるサポーター1550万人づくり」の目標達成に向けて、実践活動を強化してまいります。

結びになりますが、本年は辛丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ」というような年になると伝えられております。

この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの1日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穰の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

JAと農業 未来を拓く協同組合

教えて!日本農業

食料自給率

食料自給率は、わが国の食料全体の供給に対する国内生産の割合を示す指標です。特に、供給熱量(カロリー)ベースの食料自給率は、米の消費が減少するなどの食生活の変化により、長期的に低下傾向が続いてきました。

2019年度は前年度より1ポイント増の38パーセントとなりましたが、依然として低水準にとどまっています。

一方、生産額ベースの自給率は66%でカロリーベースより30ポイントほど高くなっています。これは国内において、カロリーベースでは数値として反映されにくい野菜などの自給率が高いためです。しかし、生産額ベースの自給率も長期的に見て低下傾向にあります。

将来にわたって食料を安定的に確保するためには、食料自給率を高めることが重要であり、JAグループは、水田をはじめとした農地の活用や保全対策など生産基盤の強化や、国産需要の拡大を目指し、実需者との多様な契約方式による生産・販売の拡大に取り組んでいます。



2019年度の自給率

カロリーベース	38%	1人1日当たり国産供給熱量(918kcal) 1人1日当たり供給熱量(2,426kcal)
生産額ベース	66%	食料の国内生産額(10.3兆円) / 食料の 国内消費仕向額(15.8兆円)

→ 供給熱量(カロリー)ベース食料自給率: 基礎的な栄養価であるエネルギー(カロリー)に着目して、国民に供給される熱量(総供給熱量)に対する国内生産の割合を示す指標

→ 生産額ベース食料自給率: 経済的価値に着目して、国民に供給される食料の生産額(食料の国内消費仕向額)に対する国内生産の割合を示す指標

農水省資料をもとに作成



耕そう、大地と地域の未来。

監修=JCA(日本協同組合連携機構)

新年挨拶

青年部部长

大澤

直弥



皆様、新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては日頃より、青年部活動に対しまして格別のご理解・ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。また、青年部員の皆様におかれましては日頃より青年部活動にご参加・ご協力いただき厚く御礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、3月の気温が高く推移し、融雪も早く進みましたが、4月下旬に雪が降り冬景色に逆戻りするという出来事が起こりました。それ以降天候にも恵まれ、春作業はスムーズに進みました。その後の生育も順調に推移し、収穫の秋へと向かっていきました。秋の天候はいつになく恵まれ、収穫作業、圃場の管理を進めることができました。2020年忘れてはいけない、忘れることができないのは、「新型コロナウイルス」です。

新型コロナウイルスがもたらしたものはあまりに大きく、これからの農業にどのような影響を及ぼすのかわかりません。いつ終わりが来るのかもわからず、先のないトンネルの中にいるように感じます。そんな今だからこそ、農業も青年部活動も見つめ直す時期だと感じます。今まではひとつの作物を作っていた良かったものが、これからはそうもいなくなるかもしれない。そういったことも視野に入れて、今後準備しておくことが必要で、視野を広くもって農業をやっていくことがとても大切になります。

青年部活動についても、視野を広げ、今までやってきた活動の他にも取り組んでいくことが必要な時だと考えます。

青年部だからやれること、青年部だからこそ取り組めることがきつとあると思います。今こそ「一致団結」、地区を越えた青年部の力を見る時。最後になりますが、関係機関の皆様、諸先輩方のご指導・鞭撻のほどをお願い申し上げますとともに皆様の健康・ご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

新年挨拶

女性部部长

鈴木

やす代



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかなお正月を迎えられている事とお慶び申し上げます。日頃より女性部活動に対し、皆様のご理解とご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスに全世界が巻き込まれ、私達も終わりのない事態に落ち着かない日々を送りました。薬がないウィルスに対し、女性部が出来るのは活動を自粛し、三密を避ける事くらいでしたので、少なくとも年数回は研修活動で部員の皆さんと逢えていたことが全く無くなり、寂しい年でした。

そのような中、皆さんの様子が少しでもわかるようにと発行した「女性部通信」と、役員で手分けして花を植え、ソーシャルディスタンスに充分注意しながら各支所で作成したドライフラワーを金融等の窓口に飾ってもらったことが活動の全てです。

今年度予定していましたが、加入促進のためのパンフレットを渉外担当の方々に配布していただく事や、本所役員の定数見直しのための話し合いなど具体的な活動が出来る日が近々に訪れてくれることを切に願っております。

そして、戻ることが出来ない、以前の活動や研修に執着せずに新たに有意義な事を見つけていきましょう。

この度の事で、国産農産物が大切だという事の再発見や、農業者で在る事の幸福感が再認識された、という記事が農業新聞に掲載されていました。また、何かを無くしたら、新しい何かが入る、ともありました。部員の皆さんの力で、また、職員の皆様のご協力をいただき、希望を持って楽しい明日を創っていきたくと願っています。

最後になりましたが、皆様方のご健康と、一日も早く新型コロナウイルスが収束し女性部活動が再開されることを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

根室・釧路・十勝方面拡販推進を実施！

令和2年11月9日から令和2年11月11日までの日程で、根室・釧路・十勝方面への、JAあさひかわ特産品の新規取引推進を実施しました。

（旬）コープはまなか、JA十勝清水町、JAくしろ丹頂での推進の成果についてご報告させていただきます！

厚岸郡浜中町 （旬）コープはまなか

（旬）コープはまなかはJAあさひかわ米を定番商品として販売していただいている先になります。他の農協のななつぼしを推している状態にあったが、減農薬に取り組んでいる当組合のお米が徐々に地域

住民から好評を得ているとお話があり、R1年産については、H30より2倍近い取扱いをしていただいています。また、ゆめぴりか甘酒についても高評価を与えて下さり、120本の御注文をいただきました。



上川郡清水町 JA十勝清水町

清水町に本拠を置く、乳牛をメインとしたJAとなります。現在あさがおではJA十勝清水町の商品を取扱いしております。

JA十勝清水町の所有する菓子製造工場を見学させていただき、当組合とのコラボ商品を企画していくなど、産地間連携に向け具体的な話をさせていただきました。今後は担当者間で連携し、新商品開発や販路拡大を協力して進めて参ります！



阿寒郡鶴居村 JAくしろ丹頂

釧路市鶴居村を本拠に置く乳牛をメインとしたJAになります。減農薬に取り組んでいるJAあさひかわ米に大きな関心を持っていただき、AコープでのJAあさひかわ米取扱いを前向きに検討していただいた結果、ゆめぴりか、ななつぼしの取引が決定しました！



自動車安全運転センターより、感謝状をいただきました！

当組合は交通安全対策の推進に当たり、運転記録証明書等及びSDカードを積極的に活用しておりますが、その貢献に対して自動車安全運転センターより、感謝状をいただきました。



賞状を受け取る島山組合長

メール(SMS)による架空料金請求詐欺に注意！

メール（SMS）による架空料金請求詐欺に注意！

● NTTファイナンスをかたった詐欺メール

ご利用料金の確認が取れておりません。
本日中に03-0000-0000
NTTファイナンスお客様サポートセンターまでご連絡ください。

● NTTドコモをかたった詐欺メール

NTT docomoカスタマーサポートセンターです。
利用料金に関する訴訟最終通知の御連絡です至急ご連絡ください。
050-0000-0000

● KDDIをかたった詐欺メール

KDDIカスタマーサポートセンターです。
利用料金に関する訴訟最終通知の御連絡です至急ご連絡ください。
050-0000-0000

※ これらは全て事例です。

絶対に連絡しないでください！



- このようなメールは、詐欺メールです。
- 有料サイトの未納料金など架空の料金請求を受け、現金の振り込みや電子マネーでの支払いを求められ、だまし取られてしまいます。
- 身に覚えのない料金請求には応じず、警察相談電話（#9110）や各社の公式HPなどで案内している窓口にご相談ください。

北の富士 櫻屋



旭川の知る人ぞ知る名店。
ちゃんこ鍋はもちろん本格的なきしめんを食べることができます。

旭川市1条通3丁目
TEL 0166-22-8264

ごまそば鶴喜 末広店・美瑛店



そば・うどんやごはんものもおいしいメニューが揃っています。
鍋焼きうどんがオススメ!

末広店 旭川市末広4条3丁目
TEL 0166-51-0755
美瑛店 上川郡美瑛町大町2丁目6-40
TEL 0166-68-7700

宝来軒



お手頃価格でたくさん食べられる定食屋です。
ラーメンが絶品!
ご夫婦で営業しております。

旭川市旭町2条9丁目128-70
TEL 0166-53-6612

焼肉牛ホルモン 天



さまざまなホルモンを楽しめます。特につなひき(牛小腸)は、インパクト大!
地獄ジャンラーメンや、おいしいスイーツなど、おなか一杯楽しめます。

旭川市東光1条1丁目3-13
TEL 0166-74-8429

仕出し料理 きた川



一食入魂のお弁当屋です。
会議や行事、宴会には、是非きた川をご利用ください。
お米の炊き方もこだわっています。

旭川市豊岡5条2丁目7-3
TEL 0166-37-5255

JAあさひかわ米が 食べられるお店紹介



旭川お城の鯉寿司



お寿司・和洋中全てのジャンルで多彩なメニューが揃っているお店です。

JAのお米は定食・丼ものなどで使用されております。
お米だけではなく、そばは江丹別産のそば粉を使用されています。
団体・送迎バス有

旭川市忠和6条7丁目1番17号
TEL 0166-62-1450

和食庭園 小城



「体にやさしい料理」をコンセプトに、薬膳料理やてんぷら、刺身などの御膳を提供しています。

個室では、日本庭園を眺めながら体にやさしく、おいしい日本料理が味わえます。

旭川市神楽1条8丁目2番10号
TEL 0166-62-5123

Curry & Sweets アプレンティ



レベルの高いスープカレー・ルーカレー・スイーツが楽しめる名店です。

ネットに頼らず、できるだけクチコミで宣伝を行っているため、たくさんの根強いファンがいます。

旭川市東光8条4丁目シカザワプラザ1F
TEL 0166-85-7116

アラジン珈琲倶楽部



喫茶店にとどまらないさまざまなメニューを取り揃えています。
特にエスカロップは一度ご賞味下さい!
インスタ映えも望めますよ。

旭川市神居6条8丁目2-12
TEL 0166-61-4542

協議事項

- 1 「再発防止策」取組状況について
- 2 役員選任等の日程について
- 3 令和2年度9月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
- 4 上川中央部JA組織再編に関する会議並びに第1回打合せ会議への出席について
- 5 令和2年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策及び令和3年度 農業重点品目奨励・農業大口奨励施策（案）について
- 6 クミカン手数料並びに総合口座Ⅱ型管理利用料について
- 7 役員研修について

報告事項

- 1 内部監査の実施報告について
- 2 農家経営対策組合員の令和2年度第3四半期実績について
- 3 旭川市に対する令和3年度農業施策に関する要望について
- 4 営農企画部・購買部の営業時間変更について
- 5 TAC活動状況報告、主要農産物の状況及び地区営農状況について
- 6 旭川市農業センターとの契約について
- 7 融資要項の制定について
- 8 貸出金利の一部改正について
- 9 固定資産の処分について
- 10 不祥事未然防止にかかるJA自主点検結果について
- 11 規程類の一部変更について
- 12 組合員加入及び脱退の状況について
- 13 その他

JAあさひかわ (令和2年11月末実績)		概要
組合員数	正組合員	1,797 名
	准組合員	19,152 名
	合 計	20,949 名
出 資 金 残 高	2,096	百万円
販 売 取 扱 高	4,750	百万円
生産資材供給高	1,350	百万円
給 油 所 供 給 高	1,022	百万円
生 活 供 給 高	70	百万円
貯 金 残 高	100,410	百万円
融 資 残 高	20,464	百万円
長期共済保有高	1,611	億 円

お悔やみ 謹んで故人のご冥福を お祈り申し上げます	10/2	楡井 幸一 さん	神居地区上雨紛農事組合	11/9	柿井 春子 さん	旭正地区愛宕農事組合
	10/3	中橋 正昌 さん	永山地区8区2組農事組合	11/19	田村 義美 さん	永山地区13区農事組合
	10/6	山口 辰一 さん	旭正地区旭正10農事組合	11/21	阿部リツ子 さん	旭正地区千代田農事組合
	10/10	小山 繁照 さん	北野地区天満農事組合	11/22	大西 英臣 さん	旭正地区その他農事組合
	10/18	鈴木謙二郎 さん	北野地区3区農事組合	11/23	中野 正夫 さん	永山地区11区農事組合
	11/8	菊地 清隆 さん	旭正地区忠別3農事組合			

監査報告

第3・四半期定期監事監査の報告について

協議事項

- 1 令和2年度10月末に於ける事業実績（子会社含む）及び仮決算（子会社含む）の状況について
- 2 組合員懇談会の開催について
- 3 理事に対する貸付について
- 4 組合員の持分減口について
- 5 年末手当の支給について

報告事項

- 1 内部監査の実施報告について
- 2 経営定期点検結果に係る報告書について
- 3 経営安定対策等各種助成金について
- 4 疑わしい取引の届出にかかる第3四半期定期報告について
- 5 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
- 6 信用事業及び共済事業における相談・苦情等（令和2年度上半期）の報告について
- 7 みのり監査法人による期中監査I経過概要報告について
- 8 要改善JA指定解除並びに重点監視農協の選定解除について
- 9 経営健全化JAの取り組みについて
- 10 経営監査の結果について
- 11 令和2年度第4四半期余裕金運用計画額および運用方針について
- 12 子法人等9月末事業実績について
- 13 組合員加入及び脱退の状況について
- 14 年末年始の営業時間について
- 15 その他

監事会・監事監査の報告

監事会

第13回 監事会 令和2年10月28日開催
第14回 監事会 令和2年11月26日開催

監事監査

- 1. 無通告監査
令和2年10月に2資材センター、2給油所、1事業所、営農企画部を実施
- 2. 随時監査
令和2年10月に10金融支所、管理部、金融共済部、2給油所、1支所、3資材センター、1事業支所、農産物直売課を実施
- 3. 第3・四半期監査
令和2年11月17日から11月26日までの間で6日間実施

※監事監査は、内部監査室の協力を得て実施しました。無通告監査は、内部監査室と合同で実施しました。

JAグループ通信



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介しします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会

北海道教育委員会、北海道コンサドーレ札幌、北海道教育大学、JAグループ北海道の4者は、北海道の将来を担う子供たちが未来に向かってたくましく成長していくことを支援するため、子ども食堂の支援を行っております。しかし、コロナ禍において子どもたちが集まって食事をとることができないため、支援活動ができない状況が続いております。そこで、コロナ禍においても支援することを検討した結果、JAグループ北海道において、AGRIACTION! HOKKAIDOの取り組みの一環として、食育動画を配信することといたしました。動画は3タイプあります。JAグループ北海道のホームページで公開しておりますので、是非ご視聴ください。また、お様が動画を視聴していただき、保護者の方がアンケートに答えていただくと抽選で文房具のプレゼントがありますので、是非、こちらへの応募お待ちしております！



①小学校低学年用
《北海道の農業》



②小学校高学年用
《食料自給率》



③中高生用
《食料自給率》



http://ja-dosanko.jp/
supporter/movie_syokuiku/

J A北海道信連

北海道信連では、環境保全や地域美化の観点から、「NPO法人 北海道市民環境ネットワーク」が運営する「ラブアース・クリーンアップ運動in北海道」に参加し、事務所周辺の清掃活動を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に留意したうえで、札幌では10月に市内の職員住宅周辺で実施いたしました。全道各支所においても、状況を見極めながら順次活動を実施しています。



ホクレン

ホクレンは、会員JA・生産者向けに発行している営農情報誌「アグリポート」と連動した動画情報などを提供する「アグリポートチャンネル」を「YouTube」に開設しました。URLは以下の通りで、新型コロナウイルスの影響により今年は現地開催を見送った「ホクレンフィールドデー」のオンライン版動画などもアップしています。



https://www.youtube.com/channel/UC4Dt4CyXyMsKSVtofG4dprw



J A共済連北海道

JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しております。インターネットに開設したキャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で総計12,000名様に家電などの素敵な賞品が当たります。キャンペーンは令和3年3月31日(水)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております！



JA共済ホームページ
アドレス

https://www.ja-kyosai.or.jp/

J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。秋号においてはプレゼント付アンケートのコーナーもございます。是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧くださいアンケートへのご協力をお願い致します。

